

日本大判寫眞家協会 会報

image circle

イメージサークル

2024年8月号 Vol. 287 令和6年8月1日 発行 Home Page://lpa-japan.sakura.ne.jp/index.html

発行人及び編集人 高田 幸二

本部及び事務局 1 : 661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目23-32 (高田幸二方)

携帯 090-8571-6913 TEL&FAX 06-6428-2953

事務局 2 (研究会担当) : 581-0002 大阪府八尾市東久宝寺3-6-9 (末永宏方)

携帯 090-4283-4422 TEL 072-991-1737



大阪府 万博公園 夏スイセン

7月度の研究会は無しでした

退会者報告

高田 幸二

須賀、市川、米本、田中明会員の

7月度研究会は無しでした。

4名の退会者がありました。

8月度も研究会はありません。

「大判写真展」につきまして

末田能久

会員諸兄姉の多くはすでにご存知かと思いますが、小生はつい最近「大判写真展」についての web 記事を目にしました。残念ながらこれが世間様のご評価なのだろうと思いません。小生としてはこの写真展の眼目にできるだけ沿っての作品作りをしたいと思いますが、如何せん、1 億画素のデジタル写真と(例えば) 4x5 のフィルムを現行の 200dpi で分解した写真を比べられても、比肩する作品をつくる術を思いつきません。何かが間違っているような気もいたしますが、本音としては大筋でこの記事の投稿者の方と同じ意見です。写真展の内容とその謳い文句に大きな齟齬が出てしまい、その部分を衝いた web 記事が堂々と公開されているという事実は無視できないようにも思います。この件に関しては、以前からそのように考えておりましたが、グランプリだの特選だのとコンペ的な要素を持ち込むのなら、せめて、デジタルもフィルムもある同一の基準で比べている、と来場者や鑑賞者の方々へアピール出来るようなルールにしたほうがよいと考えます。例えば、「写真の大きさは全て全倍」、「課題に準じた作品に限る」、「スキャニングも大判フィルムの場合は 400dpi で分解する」等。もしこのようにしたとすれば、費用もかなり増額する

でしょうし、参加者数の増減も考えられるでしょう。しかし、その上でフィルム写真の愛好家の皆様に信を問うような形の写真展にする方が、この記事で指摘されているような事態を少しは解消できるのではないのでしょうか。このままでは協会そのものの存続が危ういと思います。もう出来る事が限られているのも明白でしょう。せめて最後まで真っ当な方向を目指して、協会の方針を上記のように修正をしていただけますよう提案させていただきます。

夏スイセン

- ・彼岸花(ひがんばん)科。
- ・学名

Lycoris squamigera

Lycoris : ヒガンバナ属

squamigera : 鱗片がある

Lycoris(リコリス)は、ギリシャ神話の海の女神「*Lycoris*」の名前から採った。花がとても美しいことから。きれいなピンク色の花。

- ・茎は太い。
- ・花は彼岸花に似ている。

彼岸花より

1ヶ月以上早く、8月頃に咲く。

・夏に花が咲き、
花のあとに出てくる葉っぱの形が
水仙に似ているところから
「夏水仙」になっただけらしい。

・別名

「リコリス」

リコリスの名は、学名の
「Lycoris (ヒガンバナ属)」
から、彼岸花、狐の剃刀、
夏水仙などの
いわゆる彼岸花科の花を
総称して呼ぶこともある。
夏水仙を指すこととします。

(ご参考)

同じ「リコリス」の名で、
豆科の
「Licorice」を指す場合もある。

大阪府万博公園や兵庫県有馬富士
公園で見ることができます。

8月のお盆のころが見頃です。1年で
一番暑い時期の撮影となります。

熱射病に気を付けながら撮影しまし
た。